

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表（平成30年度分）

法人名	社会福祉法人 豊生会	代表者	理事長 佐藤 眞紀男	法人・ 事業所 の特徴	住み慣れた地域で「通い」を中心として一人ひとりの様態や希望に応じて「訪問」や「泊まり」を組み合わせ、24時間365日切れ目のないサービスを提供いたします。利用者、家族が共に安心した生活を継続できるよう支援しています。また、地域での行事や催し等の参加や、ボランティアによる慰問も活発に取り入れており、増設している地域交流ホールにてカフェの開催を行い、地域の方々との交流を楽しめるような環境作りを心がけております。
事業所名	小規模多機能 ふれ愛の里	管理者	齋藤 あつ子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	人	6人	0人	1人	1人	0人	4人	0人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			自己評価については、良く分からない部分がある。家族が理解できる部分と他者が分かる部分があるため総括表を確認しながら判断したい。	利用者の生活歴の把握を行い、職員間で共有し、周知に努める。また、職員の気づきや情報をもらさず記録することに努める。
B. 事業所のしつらえ・環境			綺麗に花を飾ったり、四季折々の飾りを工夫している。綺麗に整頓されている。	環境衛生を中心に、事業所の環境整備を継続的に行い、清潔面や事故防止に努める。
C. 事業所と地域のかかわり			小規模多機能事業所の認知度が低くサービス内容を理解している方が少ない。	地域にて広報活動を行う。地域交流ホールでのカフェを継続していく。町内会長や運営推進会議委員の方々から情報収集を行う。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			訪問美容や訪問歯科、訪問診療等を利用していることは把握している。病院受診や外出支援も利用状況報告書で確認している。	地域の催しには積極的に参加し、外出する機会を多く作り、近隣の方々との交流を積極的に行う。
E. 運営推進会議を活かした取組み			運営推進会議では、事業や実績の報告が主になっている。事業所の情報共有については行えている。	利用者の生活を元に、地域とのつながりを再確認し、事例検討等を運営推進会議で行う。
F. 事業所の防災・災害対策			避難訓練実施は報告を受けて分かっているが、どのように行われているのかを見たことがない。	事業所での避難訓練に地域住民や運営推進会議委員の方々に参加を依頼し、訓練の手順の確認と見直しを行う。